



# スキルアップ補助金利用内容について 加齢医学研究所・領家梨恵

## ・目的

Federation of European Neurosciences Societyの定期学術集会であるFENS Forum 2016(7月2～5日)における研究成果発表および情報収集を行い、International Neuropsychological Societyの定期学術集会(7月6～8日)において神経科学および心理学分野の最新研究の情報収集を行った。

## ・旅程

平成28年7月1～5日

仙台→デンマーク

□ 10th FENS Forum of Neuroscienceに参加

平成28年7月5～8日

デンマーク→イギリス

□ International Neuropsychological Society 2016 Mid-Year Meetingに参加

平成28年7月8～9日 ロンドン→仙台

## ・講演等内容について

運動や社会的接触の機会を向上させたエンリッチメント環境下でマウスを飼育し、飼育環境変化前後を比較する実験を行った結果、脳体積の変化量と探索行動変化量に正の相関がみられ、変化のあった脳部位の神経細胞樹状突起伸長が確認された。成体であってもエンリッチメント環境下での飼育によって脳体積と認知機能に大きな変化が生じること明らかになった。

## ・本制度を利用することによって得られた効果

スキルアップ経費による旅費支援を受けることで、国外で開催される大規模の学術集会に参加できたことは非常に有益であった。なぜなら、世界中の研究者が集まる国際学術会議において最新の研究成果を議論する貴重な経験をしたためである。今回学んだことは、国際的に競争力のある研究を進める原動力に繋がると考えられる。

## ・研究内容紹介

私は小動物MRI、行動課題および神経組織染色の異なるモダリティを組み合わせた研究を本研究室で進めている。ラットまたはマウスの脳形態変化および認知機能変化を経時的に検討することで、認知機能の変化に関連する脳部位を全脳レベルで明らかにするとともに、それらの脳部位の組織染色によって神経細胞レベルの解析を行う。